

喜びの言葉



学長 西村 嵩夫

「同窓会の会報を出すことになりました。ついてはなにか挨拶の言葉を書いていただけませんか」と依頼をうけたとき、私はニコニコして引き受けました。18,000人の卒業生を出し、26年間の歴史をもつ大学として「独自の会報」がこれまで出なかったことは残念でした。それが卒業生の皆さんの努力によって会報が出される運びになったのは、「大学同窓会のより効率的な組織化と活性化」を強く願うものとしては、とても嬉しいことです。大学を卒業するメリットの 하나가、学生生活で作られた人脈のネットワークを生かせることです。それが会報の発刊により効果的になります。

母校の名古屋学院大学は外国語学部もでき、新しい建物も完成し、学生の質も向上するなど、いまや順調な状態にあります。これはひとえに関係先輩や同僚の皆さんの努力のお陰ですが、なんとかこうした上り調子の状態を維持したいと考えています。油断してはいけません、のっているときは「それ行け、ドンドン」で、明るく、にぎやかに、積極的に未来に向かって進んでいくのがよいと思います。

私は教員になることが本来の志望ではなかったのですが、30年たらずの教員生活でえた「宝もの」は、教え子たちの存在です。教え子が大学を出て、世間の荒波にもまれながらも、くじけず、長していくのを見るのは、この上ない喜びです。本学でもそれぞれのゼミナールごとに「会報」があり「集い」があると思います。私のゼミは大人数で知られていますが、年2回の総会や懇談会で数十人のOB諸君が集まってく

るたびに、「これが全学的規模であったらなあ」という思いを強くしていました。それがこの度から、かなえられることになったのです。

「同窓会の会報を出すことになりました。ついてはなにか挨拶の言葉を書いていただけませんか」と依頼をうけたとき、私はニコニコして引き受けました。18,000人の卒業生を出し、26年間の歴史をもつ大学として「独自の会報」がこれまで出なかったことは残念でした。それが卒業生の皆さんの努力によって会報が出される運びになったのは、「大学同窓会のより効率的な組織化と活性化」を強く願うものとしては、とても嬉しいことです。大学を卒業するメリットの 하나가、学生生活で作られた人脈のネットワークを生かせることです。それが会報の発刊により効果的になります。

ホームカミングデーご案内

ホームカミングデーとは卒業生が母校に帰って、恩師や学友の健康を共に喜び、旧交を温めるためのものです。



- 軽音楽演奏会
 - 入学試験相談コーナー
 - キャンパスグッズ販売コーナー
 - 抽選会（ステキな記念品がありました）
 - 駐車場 係員の指示に従って駐車して下さい。
 - ★当日は理事長、学長始め多数の教職員の方が参加されます。
 - ★当日は大学祭開催中です。
- とき 1990・11・4(日)
午前11時～午後3時
ところ 本学、希望館2階キャンパスホール
ご家族お揃いでおい下さい(無料)
おもな催物
● 軽食コーナー
● 抽選会(ステキな記念品がありました)